

# ホオズキの地下茎の太さが切り花形質に及ぼす影響

4.0mm以上の太い地下茎を利用すると、切り花形質が優れる

## 背景・目的

- ホオズキの栽培では、実生由来の地下茎を利用した増殖を行いますが、初期生育の不揃いによる品質のばらつきが見られています。
- 品質のばらつきの要因の一つとして、地下茎の不揃いによる影響が考えられることから、地下茎の太さがホオズキの生育及び切り花形質に及ぼす影響を調査しました。

## 成果の内容

- 切り花長及び結実茎長は、地下茎4.0mm以上が3.5mm未満より長くなります（表1）。
- 総節数は地下茎4.0mm以上が3.5mm未満より多くなります（表1）。
- 着実数及び着実節数は地下茎4.0mm以上が3.5mm以上4.0mm未満及び3.5mm未満より多くなります（表1）。

表1 地下茎の太さが切り花形質に及ぼす影響

試験区	切り花長(cm)	結実茎長(cm)	総節数(節)	着実数(個)	着実節数(節)
4.0mm以上区	117.9 ± 2.1 <sup>z</sup> a <sup>y</sup>	90.8 ± 1.9 a	28.8 ± 0.5 a	19.1 ± 0.7 a <sup>x</sup>	17.4 ± 0.2 a
3.5mm以上4.0mm未満区	113.4 ± 2.4 ab	79.9 ± 3.6 b	27.3 ± 0.4 ab	15.4 ± 0.7 b	14.8 ± 0.7 b
3.5mm未満区	110.9 ± 1.9 b	79.3 ± 2.8 b	26.5 ± 0.6 b	14.6 ± 0.7 b	14.1 ± 0.7 b

<sup>z</sup> 平均値 ± 標準誤差

<sup>y</sup> Tukeyの多重検定により同一列の異文字間に5%水準で有意差あり

<sup>x</sup> Steel-Dwassの多重検定により同一列の異文字間に5%水準で有意差あり

## 成果の活用方法(又は期待される効果)

- 優良地下茎を確保する際の基準として利用できます。



図1 切り花（左から4.0mm以上、3.5mm以上4.0mm未満、3.5mm未満）

- 普及対象地域・戸数 県内のホオズキ生産者 17戸

## 留意点

- 総合農試（宮崎市）でポット栽培した試験結果です。

関連研究成果カード：2024年整理番号20、関連事業名：戦略花きにおける安定生産技術開発事業(県単)

研究期間：2022～2023年度